

2015年度 教師海外研修（派遣国：エチオピア） 指導案（兼実践報告書）


1. 単元名(活動名)：ヘルプからサポートへ ～人々の自立を求めて～					
2. 対 象：千歳市立東千歳中学校 1, 2年 A組 (7名) 授業者：坂本 育朗	3. 学習領域				
		1	2	3	4
4. 教科との関連性： 総合的な学習「国際理解」	A多文化社会	文化理解	文化交流	多文化共生	
	Bグローバル社会	相互依存	情報化		
	C地球的課題	人 権	環 境	平 和	開 発
	D未来への選択	歴史認識	市民意識	社会参加	
5. 実施時期： 2016年 3月	6. 時数： 4時間				
7. 単元の目標（評価の観点を意識して設定）： ・【関心・意欲】エチオピアの文化・習慣・生活や日本との共通点に関心を持つ。 ・【技能】 問題解決場面において、自分の意見を発表したり、書いたりすることができる。 ・【知識・理解】エチオピアの文化・習慣・生活や自立のための「サポート」事業の在り方について知る。		8. キーワード： ・サポート ・自立 ・観光			
9. 単元について（教材観、単元設定の理由、開発教育／国際理解教育の視点等）： 以前、知り合ったあるケニア人の青年と途上国への支援のあり方について話す機会があった。その時の彼の言葉を紹介する。					
<p>私たちの国に様々な機関や支援団体がやってくるが、いっこうにスラムはなくなる。それは彼らが「ヘルプをしにくるからである。私たちがほしいのは「ヘルプ」ではなく「サポート」なんだ。</p>					
<p>周りに食料も水もなく飢餓に苦しんでいる人がいれば、その時必要なのは「ヘルプ」である。しかし、一度状況が改善されたら、「ヘルプ」は必要ない。必要なのは「井戸を掘る技術」や「農作物をつくるための知識や技術」といった「サポート」なのである。なぜなら「サポート」は、その人が自立して生きていくための土台となるからだ。</p> <p>彼と話をするまで、「ヘルプ」と「サポート」という概念を全く持っていなかった私にとって、この言葉は非常に印象的であり、何とか生徒に伝えたいと考えていた。そして今回、幸運にもケニアの隣国であるエチオピアを訪問する機会を得ることができた。実際に、エチオピアは急速な経済成長をしているものの今なお最貧国のひとつである。そして、この国の人々が自立して生活をしていくために、様々な「サポート」が行われている。その現場を実際に目にすることで、よりリアルな形で「サポート」について授業化できると考え、本単元を設定した。</p> <p>この単元は、まず最初に、私が訪問したエチオピアがどのような国か感じとってもらうために、フォトランゲージやクイズ、動画を用いて文化理解を深めることがねらいである。その際、日本文化と比較し、その類似</p>					

点を探りながら授業を展開することで、エチオピアをより身近に感じられるようになることを考える。

次に、シミエン国立公園の集落到に住む村人たちを題材に、自立への「サポート」について考えさせたい。ここでは、シミエン国立公園が抱える問題とその解決に向けて、より深く思考できるようロールプレイの手法を用いる。状況を設定後に、実際の村人、村長、環境保護団体のガイドさんの役になり解決に向けた話し合いをさせることで、環境問題を総合的にとらえさせたい。ロールプレイ後、実際にどのような「サポート」が必要なのか思考させ、意見を交流することで、問題解決の糸口を探っていくようにする。最終的に、実際に行われているシムコットプロジェクトを紹介し、観光が自立のひとつの手段であることを気づかせたい。

## 10. 展開計画（4時間扱い）

展開順	発問・働きかけ 主な習活動と学習者（児童生徒）の意識	留意点など
1 時間目	<p>■導入 アフリカ大陸の衛星写真を提示し、</p> <div data-bbox="229 792 936 853" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>発問：何という大陸ですか。</p> </div> <div data-bbox="229 884 936 1012" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>発問：アフリカについて少しでも知っていること、またはイメージを箇条書きでノートに書きなさい。2つ書いた人は、持っていらっしやい。</p> </div> <p>生徒は、教師からノートチェックを受けた後、板書する。</p> <div data-bbox="229 1099 936 1314" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>説明：これらのカードは、アフリカで撮影されたものと、それ以外の地域で撮影されたものが混ざっています。ちなみに、1枚は、先生が撮影しました。</p> </div> <div data-bbox="229 1337 936 1464" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>発問：アフリカの写真だと思うものは表面に、違うと思うものは裏返しにします。時間は2分。ペアの人と相談しながら活動しましょう。スタート。</p> </div> <p>※スクリーンに1枚ずつ提示し、各ペアの予想を確認していく。まだ答えは示さない。</p> <div data-bbox="229 1547 936 1608" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>指示：それでは、答えを確認しましょう。</p> </div> <p>写真の撮られた場所や補足説明をしながら、答えを確認。</p> <div data-bbox="229 1666 936 1749" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>指示：実際に、エチオピア旅行を30秒ほど模擬体験しましょう。</p> </div> <p>※エチオピアで撮影した動画を見せる。</p> <div data-bbox="229 1807 936 1868" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>指示：一言、感想をどうぞ。</p> </div> <p>数名を指名する。</p> <div data-bbox="229 1926 936 2018" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>説明：エチオピアクイズ！全部で10題。1位と2位の人には、良いことがあります。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒達が抱えているアフリカに対する認識がどのようなものか、この発問で把握する。</li> <li>・書いたものを板書させることで、それぞれの生徒の認識が見える化させる。</li> <li>・一斉に多くの生徒が板書できるように縦書きにするよう指示する。</li> <li>・活動の目的は、各生徒の内部情報を引き出し、交流することでアフリカに対する興味関心を引き出すことである。</li> </ul> <p><b>配布した写真の中身※資料①</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ペンギンの写真（南ア共和国）</li> <li>◇アディスアベバの中心街</li> <li>◇教会（マラウイ）</li> <li>◇地元の農村部（千歳市）</li> <li>◇サファリパーク（ケニア）</li> <li>◇パソコン室（ルワンダ）</li> <li>◇油田（ナイジェリア）</li> <li>◇キリマンジャロの積雪（タンザニア）</li> </ul> <p>※8枚中7枚がアフリカの写真であり、板書された内容とは異なる面があることを認識させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アディスアベバの中心地と中心から離れた地域の違いを伝えるため、2種類の動画を視聴する。</li> </ul> <p>・全部で何題出題するか見通しを持たせ</p>

	<p>■クイズ形式での展開 文化理解をクイズという活動を通して定着を図る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(1) エチオピアの国旗はどれか。(3 択問題)  (2) エチオピアの位置はどれか。(4 択問題)  (3) エチオピア人は誰か。(3 択問題)  (4) エチオピアの主食インジェラの味。(4 択問題)  (5) なぜエチオピアは独自の文字を持っているのか。  (6) エチオピアの紙幣はどれか。(3 択問題)  (7) この赤い実は、何の原料か。※コーヒーの実  (8) 路上の撮影された写真の一部を隠して、そこに隠れているものは何か。(3 択問題)  (9) タナ湖で見た野生動物とは。  (10) シミエン国立公園の別名 (3 択問題)</p> </div> <p>※エチオピアクイズで1位、2位になった2人には、黒板前に出てきてもらう。教師が現地で購入したエチオピアの衣装を着て、生徒全員で記念撮影。</p>	<p>てから開始する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 答えはすべてノートに書かせる。</li> <li>• 制限時間を設け、空白の時間を作らないようにする。</li> <li>• エチオピアで撮影した動画を活用しながら、リアリティを演出できるようにする。</li> <li>• クイズ以外にも発問を用意し、生徒とやりとりができるようにクイズを進めていく。</li> </ul>
<p>2 時間目</p>	<p>■シミエン国立公園が抱える問題を取りあげる。 シミエン国立公園の写真を提示し</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>発問：前時の復習です。この公園の名前は何ですか。覚えている人。</p> </div> <p>挙手した生徒を指名。</p> <p>シミエン国立公園についての記事を配布。※資料②</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>指示：これはシミエン国立公園についての記事です。先生が読みますので、目で追いなさい。</p> </div> <p>読み終わった後</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>発問：シミエン国立公園が抱えている問題は何ですか。隣の人と交流しなさい。時間は1分です。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>発問：交流したことを聞いていきます。シミエン国立公園が抱えている問題は何ですか。</p> </div> <p>問題をさらにイメージ化しやすいように動画を視聴。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>指示：この問題についての動画を視聴します。30秒程度です。</p> </div> <p>■ロールプレイ <b>(1) ロールプレイの趣意説明</b></p> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>シミエン国立公園における農業・放牧を中止すべきか 継続すべきか。</p> </div>	<div style="text-align: center;">  </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 教師が読み聞かせる。</li> <li>●シミエン国立公園は、農業や放牧によって森林や牧草が減少し、世界危機遺産に登録されている。</li> <li>• 指名して、数名に発表させる。</li> </ul> <p>※動画  <a href="https://www.youtube.com/watch?v=6oT0VewwPCI">https://www.youtube.com/watch?v=6oT0VewwPCI</a>  (1分31秒から2分2秒まで)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ロールプレイに取り組むのは初めてなので、趣意説明をする必要がある。</li> </ul>

	<p>説明：これは、シミエンの人々、そしてエチオピア政府にとっても頭の痛い問題なのです。そこで、この時間を使って、ぜひみなさんに解決に向けたアイデアを出してもらいたいです。</p> <p>説明：そしてより効果的な話し合いができるように、この時間はロールプレイという方法を使います。簡単に言うと、実際にそれぞれの立場のエチオピア人になって話し合いをし、そこから解決策を導いていけることが理想です。</p> <p><b>(2) 登場人物とその人たちの意見を提示</b> 資料3をプリントで配布し、教師がそれぞれ読み上げる。</p> <p><b>(3) 役割分担を決める。</b> 登場人物7名の役割カードを裏返しにし、配布。くじ引き方式で役割分担を決定。</p> <p><b>(4) 生徒は、役になりきって自己紹介と立場を簡潔に述べる。</b> ※村長役の人が司会進行を行う。</p> <p><b>(5) 実際に話し合いに入る。</b></p> <p><b>(6) 役を解き、役割を演じた感想と実際の自分の意見をノートに記入。</b></p> <p><b>(7) 記入したものをグループで交流。</b></p> <p>説明：次の時間に、シミエンで実際にどのような取り組みが行われているのかを学習しましょう。</p>	<p><b>【登場人物】</b> ※詳細は資料③</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・村長</li> <li>・アザナウ（環境保護団体 ガイド）</li> <li>・アベベ（環境保護団体 ガイド）</li> <li>・ハイレ（村人）</li> <li>・ガネット（村人）</li> <li>・フィン（村人）</li> </ul> <p>(2) 事前にすべての登場人物の意見を共有していたほうが、見通しをもった話し合いができると考える。</p> <p>(4) 司会役の生徒には、司会進行のやり方も資料③に記載しておく。</p> <p>(5) 話し合いが停滞した場合は、各グループで作戦タイムをとり、話し合いがさらに継続できるように配慮する。</p> <p>(6) ロールプレイにおいては、必ずしも結論を出さなくてもよい。実際にエチオピア人の立場にたって話し合い活動をすることが目的。</p>
<p>3 時間目</p>	<p>■シミエン国立公園の問題について再度考える。</p> <p>発問：前の時間は、実際に現地の人になりきって、解決策について話し合いました。実際にこの問題を解決するために、どのようなアイデアがあるのでしょうか。思いつくものなんでもかまいません。ノートに書きなさい。時間は5分です。</p> <p>実際にシムコットプロジェクトについて紹介する。</p> <p>説明：この村の問題を解決すべく、JICAが中心となってある活動を始めました。現在その中心となって取り組んでいる人がいます。</p> <p>石黒 侑介さんの写真を提示する。</p> <p>説明：石黒侑介さんといいます。</p> <p>指示：石黒さんの言葉です。～さん、読んでください。</p> <p>※指名して読んでもらう</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1つ書いたら、黒板に書かせる。書いた後も、時間まで考えさせる。</li> </ul>  <p>石黒侑介さん</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・石黒さんの言葉</li> </ul> <p>シミエン国立公園の自然は、本当に素晴らしいです。そして標高4000mの山々に囲まれた村には独自の伝統と生活習慣が色濃く残っています。この価値は一級品です。何とか、人々と自然の両方を守り、村の自立を手助けしたいです。必ず実現できます。</p>

	<p>発問：石黒さんは、この問題を解決するために行っていることとは何だと思えますか。 周囲の人と話し合いなさい。</p> <p>生徒に話し合いででてきた意見を発表させる。 ■シミアンでの実際の取り組み示す。</p> <p>指示：石黒さんのお話を聞いてみましょう。</p> <p>現地で撮影した石黒さんの説明を視聴する。</p> <p>発問：石黒さんは何によって村を自立させるようとしているのですか。</p> <p>※ヒントとして、漢字二文字などヒントを出してもよい。 (正解は「観光」である)</p> <p>JICAが作成した動画を視聴する</p> <p>指示：このプロジェクトについての動画があるので視聴しましょう。2分ほどです。</p> <p>教師が体験しているところの動画を視聴。</p> <p>説明：先生も実際にこのプロジェクトを体験してきました。</p> <p>シムコットプロジェクトの効果を事実で示す。</p> <p>指示：これはシミアン国立公園の観光者数です。さて、2013年は何人くらいの方がここを訪れていると思えますか。予想です。</p> <p>※指名して発表。 2000年は、年間約2500人。 2013年は、年間約14000人。 出典：北部ゴンダールゾーン文化観光局より村長のインタビュー</p> <p>説明：この村の村長さんのお話です。</p> <p>説明：このように観光という産業が、地域や人を自立させる手段の一つになっているのです。</p> <p>説明：今日の授業の感想を書きなさい。</p>	<p>※シミアン国立公園で坂本が実際に録画した石黒さんの説明を見せる。</p> <p>※動画 <a href="https://www.youtube.com/watch?v=6oT0VewwPCI">https://www.youtube.com/watch?v=6oT0VewwPCI</a> (始めから1分30秒まで) ・実際に坂本が体験したシーンの動画を見せる。</p> <p>・2000年には約2500人だった観光客が2013年には約1万6千人に増えた。観光客がもたらす地域への収益も2004年の約440万円から2010年の約2千万円へと4倍以上に</p> <p>・現地で実際に撮影したものに字幕を挿入した。 <b>村長の話</b></p> <p>日本からこのような支援を受けたことを大変うれしく思います。このプロジェクトを途中であきらめることなく、将来のために積み重ねていきたいです。そして未来のために日本との良きパートナーシップを維持していきたいです。日本のみなさん、ありがと</p>
4 時間目	<p>■導入として日本とエチオピアの平均寿命を比較する。</p> <p>発問：日本の平均寿命は、何才くらいですか。</p> <p>正解は、84歳。(WHO世界保健統計2014より)</p>	

発問：では前回学習したエチオピアの平均寿命は、何才くらいだと思いますか。

正解は、64歳。

発問：ちなみに世界の平均は70歳ですが、なぜエチオピアは、平均よりも低いのでしょうか。理由をできるだけたくさん予想して、箇条書きでプリントに書きなさい。制限時間は5分です。

制限時間終了後、板書の内容を確認。

発問：板書された事項を大きくまとめると、次のように表現できます。漢字2文字です。さあ何でしょうか。

正解は、「貧困」である。

迷っている生徒が多い場合は、【■困】と片方の漢字を提示し、ヒントにしてもよい。

発問：貧困を解決するには、どのような手段があるでしょうか。思いつくものをどんどん書いていきましょう。

制限時間になったら、各グループの代表者が発表。

■ヘルプとサポートの違いについて思考させる。

・テンパ・テラーさんの写真を提示

説明：ケニア人のテンパ・テラーさんといいます。彼は、ケニアのスラム街で子供たちの支援に携わっている人です。彼の言葉を紹介します。

私たちの国に様々な機関や支援団体がやってくるが、いっこうにスラムはなくなる。それは彼らが「ヘルプをしにくるからである。私たちがほしいのは「ヘルプ」ではなく「サポート」なんだ。

発問：テンパさんの言う「ヘルプ」と「サポート」の違いは何だと思いますか。隣の人と相談しなさい。

発表させる。

・教師が、ヘルプとサポートの違いを改めて説明する。

発問：実際に、サポートにはどのような支援があるでしょうか。ノートに書きなさい。先ほどみなさんが板書したのものの中にも含まれているかもしれませんね。

発表させる。

■エチオピアにおけるサポートについての動画を視聴。

指示：エチオピアで現在行われているサポートについての動画があるので視聴しましょう。

・指名して予想で答えさせる。  
例えば、「50歳」と答えた場合、全体に対し「50歳より高いと思う人」「低いと思う人」とたずね挙手させることで、全員を巻き込む。

・「3つ書いたら、先生のところに持ってきてください」と指示し、持ってきた生徒から板書させる。  
・その後も制限時間まで他の原因を考えさせる。

・クラスの状況に応じて、グループワークにして、相談しながら活動させても良い。

・「魚と釣り竿」などの例を示し、わかりやすくする。  
・ノートに書いたものを板書させる。

※動画

[www.youtube.com/watch?v=wsheH3jF9H0](http://www.youtube.com/watch?v=wsheH3jF9H0)

	<p>動画内にあるサポート</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(1) 植林事業 (2) JICA母子栄養改善プロジェクト (3) KAIZENの導入と取り組み</p> </div> <p>■まとめ</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>発問：これらの取り組みの目的は何ですか。 【エチオピアの人々の■■■】 ■に入る言葉を書きなさい。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>説明：そう、正解は自立です。現在、世界中でサポート活動をしている日本人がたくさんいます。今後、機会があったらぜひそのような人たちに学校に呼びたいですね。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>指示：今日の授業の感想を書きなさい。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時のシムコットプロジェクトもサポートであることを補足する。</li> <li>・JICAの出前授業につなげる。</li> </ul>
<p>1 1. 評価方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【関心・意欲】エチオピアの文化・習慣・生活や日本との共通点に関心を持つことができたか。 (行動観察)</li> <li>・【技能】問題解決場面において、自分の意見を発表したり、書いたりすることができる。 (行動観察、ノートチェック)</li> <li>・【知識・理解】エチオピアの文化・習慣・生活や自立のための「サポート」事業の在り方について知る。 (ノートチェック)</li> </ul>		
<p>1 2. 苦勞した点・改善点</p> <p>ロールプレイに挑戦したのは初めてであったので、事前に書籍で先行実践を調べたり、国際理解の研修に参加することでロールプレイのイメージを持つことができた。一方で、話し合いを活発にするには、対立軸と状況設定をどうしようか試行錯誤を繰り返した。実際のロールプレイでは、生徒の感想にあるように充実した活動になったが、生徒の頑張りに救われた面もあった。</p>		
<p>1 3. 授業づくりのための参考資料・引用文献</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・『世界の国1位と最下位 国際情勢の基礎を知ろう』岩波ジュニア新書 眞淳平</li> <li>・『エチオピア駐在見聞録』セルバ出版 尾幡佳徳</li> <li>・シムコットプロジェクト <a href="https://www.youtube.com/watch?v=6oT0VewwPCI">https://www.youtube.com/watch?v=6oT0VewwPCI</a></li> <li>・『知花くららさんのエチオピア訪問』 <a href="http://www.youtube.com/watch?v=wsheH3jF9H0">www.youtube.com/watch?v=wsheH3jF9H0</a></li> <li>・アフリカの天井が危ない 朝日新聞デジタル <a href="http://www.asahi.com/articles/ASH7P6RJFH7PUHBI033.html">www.asahi.com/articles/ASH7P6RJFH7PUHBI033.html</a></li> <li>・エチオピア連邦民主共和国シミアン国立公園及び周辺地域における官民協働によるコミュニティ・ツーリズム開発プロジェクト詳細計画策定調査報告書 <a href="http://open_jicareport.jica.go.jp/pdf/12044178.pdf">http://open_jicareport.jica.go.jp/pdf/12044178.pdf</a></li> </ul>		

#### 14. 学びの軌跡（児童生徒の反応、感想文、作文、ノートなど）※ロールプレイ後の感想

○その土地に住んでいる人たちの伝統も大切だし、自然保護も大切なので、その両立は難しいと思いました。その伝統を壊すことなく自然保護の方法があれば良いのですが。私だったら、その土地の人々に自然の大切さ、なぜ保護する必要があるのかを十分に説明し、理解をしてもらえるようにしたいです。

○僕が自然保護機構の人だったら国からお金を出すことは難しいと思うので、村人に農業や放牧をやめてもらうか、先ほど話し合いをしたように、放牧をした場所に植林をするなど色々な考えを出したいです。

○僕は中立派なので、役割にあっていた。お互いが win-win の関係になることは難しいが、それに近づけることはできると思うので、ゆずれるところとゆずれないところを出し合いながら、良い策を考えていくことが大事になってくると思う。どちらかに偏るのは難しい。

○僕は自然保護したいという意見だったので、自然保護機構の役で良かったです。でもいざやってみると、自分の方が不利な部分が多くて大変でした。でも、少しは解決ができて良かったです。

○どちらの願いもかなえてあげるのは無理だと思う。村は2000年もの歴史と伝統がある。それに対して国は1978年からこの問題に注目し始めたのだから、村の方が主張しやすい。僕は反対派の役だったが、不利に感じた。

#### 15. 備考（授業者による自由記述）

エチオピアでは、ビデオカメラを使用し、できるだけ多くの動画を撮影した。動画を使うことで写真にはないリアリティを伝えることができるし、授業に使える素材は多いにこしたことはないと考えたからである。実際の授業において、動画の効果は絶大であった。アディスアベバ市街地の動画を見せたとき、生徒たちは食い入るように視聴していた。また、JICA職員やシミアン国立公園の村人のお話し、インタビューの様子を教師の言葉で説明するより、動画で見せたほうが、より実際の出来事として示すことができる。動画の編集には多少時間はかかるが、それを補って余りある素材の力を感じた。

また、ロールプレイについてだが、その利点と難しさの両方を経験することができた。実際にやってみた利点として、

- (1) 建設的な話し合いが求められるので、合意形成や他者受容といったコミュニケーション能力を高める効果がある。
- (2) 集団同士の関係やそれぞれの立場の違いについて理解を深めることができる。
- (3) ロールプレイを終えた後、扱った課題に対する知的好奇心が高まる。

の3点を挙げることができる。一方で、

- (1) これまで司会の経験がなかったり、人前で話をするのが苦手である生徒が司会になった場合、ロールプレイを成立させることが難しい。
- (2) 実際の自分の考えと、担当した役割の意見が異なった場合、自身の意見へのこだわりから、ほとんど発言ができなくなってしまう生徒がいる。
- (3) 学級、または班における人間関係が良好でなかったり、話し合い活動の経験がほとんどない生徒たちに対して、ロールプレイはハードルが高い。

など、実施するうえで困難な面もある。

ロールプレイを成功させるには、間違いを恐れずに自由に発言ができる学級風土、役割分担を決める際の方法の工夫、4月から言語活動を充実させるための指導計画が必要であろう。

もし、ロールプレイの実施が難しいと判断したら、ロールプレイではなくグループごとに意見を交流しながら問題解決に向かわせるといった方法も考えられる。



資料 1



教師海外研修（北海道地域）【エチオピア】  
千歳市立東千歳中学校 坂本育朗

## 「アフリカの天井」が危ない 世界遺産、森の8割失う

4千メートル級の山々が連なり、「アフリカの天井」と呼ばれるエチオピア北部の世界遺産「シミエン国立公園」。断崖絶壁で守られてきた貴重な自然環境が、周辺人口や家畜の増加で存続の危機にさらされている。公園の入り口にあるデバルクという町(標高2600m)から、ジープで約2時間半。標高約3600mのある村に到着した。

崖の上には壮大な草原が広がっており、エチオピア周辺の高地にだけ生息するとされるゲラダヒヒが群れをなしていた。また、この地には他にもエチオピアオオカミ、ワリアアイベックスなど希少な動物たちが生息している。

そんな動物たちの「楽園」が今、危機に直面している。原因は、昔から行われている公園内の農牧地化だ。世界遺産になってから、農地の拡大を禁止しているが、ほとんど守られていないのが実情だ。人口増加の影響で、馬や羊の放牧や開墾が日常化しているのだ。ガイドはその度に注意するが「何度言っても聞いてくれない」。

シミエン国立公園の森林は、1978年に世界遺産に登録されてから今にいたるまで、約8割が農業や放牧によって失われた。そして1996年には世界遺産の価値が脅威にさらされていることを示す「危機遺産リスト」に登録された。

自然保護機構のガイドであるアザナウさんは、「現状のままだと、あと数十年のうちに、貴重な自然は壊滅し、動物たちも絶滅するでしょう。今すぐ開墾と放牧を中止しなくてはなりません」と警鐘を鳴らす。

一方、周辺住民たちは2千年以上前から、農業を営んできた。農業・放牧で生計をたてている村人のハイレさんは、「世界遺産だと言って土地の利用を制限し始めたのは、後から来た白人や都会の人間だ。しかも農業をやらずどう生きていけというのだ」と不満をもらす。同じ村人のガネットさんも自然保護の重要性は理解しながらも「別な土地への移住は考えられない。農業はやめられない」と重い口を開いた。

村長は、自然保護と村人の生活の間で悩んでいる。「何とか良い解決策があればよいのですが・・・」。

現在、この村に日本の支援組織のメンバーである、石黒さんと

エチオピアの伝統的な生活が色濃く残っているシミエンの村は、今岐路に立たされている。

※朝日新聞デジタル(2015年7月24日 三浦 英之)一部改

### 絶滅が危惧されるシミエンの動物たち



エチオピアオオカミ



ゲラダヒヒ



ワリアアイベックス

教師海外研修(北海道地域)【エチオピア】  
千歳市立東千歳中学校 坂本育朗

## 資料3



### 村長

- この村を良くしたい。
- 村人たちが農業や放牧を続けたい気持ちもわかるし、自然を守らなくてはならないという意見も理解できる。
- みんなで話し合いの場を設け、全員が納得できるような解決策が見つかるとういのだが。

#### 【ロールプレイの役割】

(1) 話し合いの最初、次のように述べてください。

**「今日は、この村の将来についてどうしていくべきか知恵をしぼるために、みなさんに集まってもらいました。まずは、村人のハイレさんから順番に自己紹介と自分の意見を言ってください」**

(2) 主に話し合いの司会進行。問題の解決策を引き出すことを最終目標とする。  
自分の意見を述べてもかまわない。

(3) 出された意見をできる範囲で記録する。

(4) 参加者に意見をうながしたり、確認したり、まとめたりする。

※例：「～さん、意見をお願いします」

「これまでのところ、～していくという意見が強いですね。これに対して賛成や反対、または代案の意見はありませんか」など。



### エチオピア自然保護機構のガイド、アザナウさん

シミエン国立公園は、希少な動植物の宝庫です。

これ以上、農地を増やしたり放牧をし続けると、豊かな自然が近い将来、壊滅してしまうでしょう。

動物も絶滅してしまいます。

村人のみなさんには、本当に申し訳ありませんが、すぐに農業と放牧を中止して下さい。自然が失われては、村人のみなさんも生活できなくなるのですよ。

**農業・放牧 反対**



### エチオピア自然保護機構のガイド、アベベさん

この地の自然を守ることが何より重要です。エチオピアから世界遺産が1つなくなるということは、国として大きな損失です。ただ、村人たちの生活も守る必要があるでしょう。農業は縮小していくことになるので、農業以外で何か仕事ができるようにしたいですね。

**農業・放牧 反対**



### 村人のハイレさん

私たちは、先祖代々2000年以上前から、この地で農業と放牧を営んできました。もしこの仕事を失えば、私たちはどうやって生活していけるのですか。そもそも世界遺産だといって、土地を制限しはじめたのは、後から視察に来た白人や都会の人間ではありませんか。農業・放牧の縮小や中止には断固反対です。ここは私たちの村です。

**農業・放牧 継続**



### 村人のガネットさん。

私たちは、この豊かな自然のおかげで生活することができています。この自然が破壊されているのは残念なことです。しかし住み慣れた故郷を捨てて、別な地で生活するなんて考えられません。とにかくこの村ですっと生きていけることを望みます。ただ、実際のところ、農業以外に仕事があるのでしょうか。

**農業・放牧 継続**



### 村人のフィンさん

今の状態で農業や放牧をやめることはできません。ただ、もしお金の援助をしてくれるなら話は別です。自然を守る前に、私たち人間の生活を考えてもらわないと困ります。一方的に自然環境保護を押し付けるのはおかしいです。みんなで話し合いを続けてよい手段を見つけたいです。

**農業・放牧 現状なら継続**